

赤穂未来創造委員会委員 追加提案の概要

番号	提案のタイトル	提案の内容	提案の理由	備考
49	ボランティアの仕事としては重過ぎる市民後見人制度の責務を見直す	<ul style="list-style-type: none"> ・ 依頼者1人に対し、市民後見人を2～3人一組で分担できるようにする ・ 契約期間も短期（2～3年）とする 	<p>独居世帯や高齢者世帯の増加により、行政手続き、買い物、雑用等の支援を必要とする人が増えるのは必至であるが、市民後見人登録はしても、実際に活動する人は少ない。</p> <p>高齢者や障がいのある人を地域で支えるためには、実際に活動できる市民後見人の数を早急に増やす必要がある。2025年問題は目前にせまっている。</p> <p>市民後見人が増えない理由と考えられるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 途中で契約解消できず、長期間拘束される ・ 無償の善意をあてにするのは制度として無理がある ・ 支援活動に関わる時間が半端でない ・ 個人資産等に関わることへのリスクがある ・ 自身の生活環境の変化を考えると躊躇してしまう 	<p>【福祉対策】</p> <p>裁判所の審判により「依頼者1人に対して市民後見人は1人」と決められており、契約期間も同様である。</p>
50	千種川の下流域や主要道路に監視カメラを設置し水位や流量、冠水状況をリアルタイムで入手できるようにする	<p>新たに監視カメラを設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 千種川の高雄と大津川の天津から河口までの流域 ・ 市内主要用水路 ・ 市内道路で冠水の可能性の高いところ 	<p>避難に時間のかかる人に対し、早々と避難勧告等が出されても、避難誘導するタイミングが難しい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ （自宅待機中）避難判断のためには、自宅が浸水する可能性をリアルタイムで知る必要がある ・ （自動車運転時）道路の冠水状況がわかれば、迂回するなどの対応ができる 	<p>【安全安心対策】</p> <p>河川の監視カメラの設置については、管理者である兵庫県に要望を行っている。</p>